



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <http://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

平成30年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	7,920	3.0	145	22.9	190	15.0	245	267.7
30年3月期第2四半期	8,167	10.9	118	4.2	166	0.3	66	7.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	13.98	
30年3月期第2四半期	3.80	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	71,406	69,977	98.0
30年3月期	72,023	70,164	97.4

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 69,977百万円 30年3月期 70,164百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		15.00		15.00	30.00
31年3月期		15.00			
31年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,900	3.8	1,000	3.3	1,080	1.6	930	55.2	53.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	20,080,480 株	30年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,580,373 株	30年3月期	2,499,309 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	17,564,870 株	30年3月期2Q	17,581,351 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな景気回復基調で推移いたしました。米中に端を発する通商摩擦や世界的な地政学的リスクの高まりによる影響が懸念されるなど不安要素が多数存在し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような経済情勢のもと、当社は、原材料の買い付けから、製造・販売に至るすべてを一貫して行う「パーティカル インテグレーション システム」の利点を活かした品揃えの充実やお客様の視点に立ったきめ細かいサービスの向上に取り組み、魅力溢れる店舗づくりに努めてまいりました。

その結果、売上高は79億20百万円(前年同期比3.0%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は1億45百万円(前年同期比22.9%増)、経常利益は1億90百万円(前年同期比15.0%増)、四半期純利益は2億45百万円(前年同期比267.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、714億6百万円となり、前事業年度末と比較して6億16百万円減少しております。

これは主に、預け金が8億28百万円増加したものの、現金及び預金が6億45百万円、商品及び製品が3億49百万円、売掛金が1億82百万円、原材料及び貯蔵品が1億49百万円、仕掛品が86百万円減少したことによるものです。預け金の増加は、自己株式取得のための預託金が増加したことによるものです。現金及び預金の減少は、主に自己株式の取得、法人税等及び配当金の支払によるものです。

負債の部は、14億29百万円となり、前事業年度末と比較して4億29百万円減少しております。これは主に、未払法人税等が2億89百万円、未払消費税等が93百万円減少したことによるものです。未払法人税等の減少は、法人税等の支払によるものです。

純資産の部は、699億77百万円となり、前事業年度末と比較して1億87百万円減少しております。これは主に、自己株式が1億70百万円増加し、利益剰余金が18百万円減少したことによるものです。利益剰余金の減少は、四半期純利益の計上に伴い増加したものの、配当金の支払に伴い減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、平成30年10月30日の「投資有価証券売却益に伴う特別利益計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,898	38,252
受取手形及び売掛金	1,119	912
商品及び製品	14,585	14,235
仕掛品	494	407
原材料及び貯蔵品	2,061	1,912
その他	207	1,131
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	57,360	56,846
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,208	8,208
その他 (純額)	1,016	982
有形固定資産合計	9,224	9,190
無形固定資産		
無形固定資産	565	543
投資その他の資産		
その他	4,873	4,826
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,873	4,826
固定資産合計	14,662	14,560
資産合計	72,023	71,406
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146	115
未払法人税等	466	176
引当金	199	199
その他	880	768
流動負債合計	1,693	1,260
固定負債		
引当金	121	125
その他	43	43
固定負債合計	165	168
負債合計	1,858	1,429
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金	15,707	15,707
利益剰余金	47,150	47,132
自己株式	△6,059	△6,229
株主資本合計	69,897	69,708
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	267	268
評価・換算差額等合計	267	268
純資産合計	70,164	69,977
負債純資産合計	72,023	71,406

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,167	7,920
売上原価	3,764	3,656
売上総利益	4,402	4,264
販売費及び一般管理費	4,284	4,119
営業利益	118	145
営業外収益		
受取家賃	29	28
その他	20	19
営業外収益合計	50	47
営業外費用		
支払手数料	-	2
その他	3	-
営業外費用合計	3	2
経常利益	166	190
特別利益		
投資有価証券売却益	-	27
特別利益合計	-	27
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	165	217
法人税、住民税及び事業税	61	50
法人税等調整額	38	△77
法人税等合計	99	△27
四半期純利益	66	245

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式81,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が1億70百万円増加しました。

この自己株式取得等により、当第2四半期会計期間末において自己株式が62億29百万円となっております。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月26日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。